（明治三十三年五月八日第三種郵便物認可）毎月四日十四日廿四日三回發行

縣報

第五拾壹號

明治卅四年九月四日

和歌山縣

○縣令

○和歌山縣令第四十八號

炭疽熱發生ニ付左ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十四年八月廿四日

和歌山縣知事　椿　蓁一郎

一　海草郡山口村大字中筋日延字日延壹圓

一　仝郡紀伊村大字田屋（字中州ヲ除ク）壹圓

○和歌山縣令第四十九號
明治三十四年八月本縣令第四十四號ハ本日限リ廢止ス
明治三十四年八月廿八日
和歌山縣知事　椿　蓁一郎
和歌山縣令第四十九號參照
明治三十四年八月本縣令第四拾四號ハ獸疫發生ニ付牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ノ件

[illegible]

○和歌山縣令第五十號

明治三十四年八月本縣令第四拾六號ハ本日限リ廢止ス

明治三十四年八月廿九日

和歌山縣知事　椿　蓁一郎

和歌山縣令第五十號參照

明治三十四年八月本縣令第四拾六號ハ獸疫發生ニ付牛馬羊豚ノ出入往來停止ノ件

○和歌山縣令第五十一號

炭疽熱發生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十四年八月三十日

和歌山縣知事　椿　蓁一郎

一　那賀郡中野上村大字野上中字新村壹圓

○訓令

○和歌山縣訓令甲第五十號

廳中一般（監獄署ヲ除ク）
郡役所
警察署
分署
縣立學校
縣立病院
縣立測候所
市役所
縣金庫

和歌山縣會計事務規程第七十二條左ノ通改正シ明治三十四年十月一日ヨリ施行ス

明治三十四年八月廿三日

和歌山縣知事　椿　蓁一郎

第七十二條　物品ハ各其ノ主管ニ從ヒ所管長又ハ分任所管長ニ於テ出納吏ニ對シ物品出納ヲ命令シ其ノ物品ノ整理及保管ニ付テハ常ニ之レヲ監督スヘシ

物品ヲ分チテ備品消耗品ノ二種トシ其ノ類別ハ別ニ定ムル所ニ據ル

○和歌山縣訓令甲第五十一號

廳中一般（監獄署ヲ除ク）
郡役所
警察署
仝分署
縣立學校
縣立病院
縣立測候所
物品出納吏

縣有物品ノ類別別冊ノ通相定メ明治三十四年十月一日ヨリ施行ス

明治三十四年八月廿三日

和歌山縣知事　椿　蓁一郎

（別冊ハ別ニ頒ツ）

○和歌山縣訓令甲第五十二號

郡役所
警察署

明治三十三年七月訓令甲第八十二號國稅外諸收入收納事務委任規程ノ科目ノ内雜收入ノ欵中官吏遺族扶助法納金及學校職員退隱及遺族扶助料法納金ノ項目ヲ削除ス

明治三十四年八月廿七日

和歌山縣知事　椿　蓁一郎

○和歌山縣訓令甲第五十三號

郡役所
縣立學校
海草郡
黒江町役場

明治二十三年七月勅令第百二十五號官吏遺族扶助法納金收入規則ニ依リ收納ノ納金ハ毎月俸給支給ノ際之ヲ差引タル吏員ヨリ左記書式ノ仕譯書ニ現金ヲ添ヘ九月以降毎月主任收入官吏ヘ送納スヘシ

明治三十四年八月廿七日

和歌山縣知事　椿蓁一郎

（書式）

明治何年何月分國庫納金仕譯書

俸給額	納金額	備考	官職氏名
五〇〇〇〇	〇五〇〇		何々何某
三〇〇〇〇	〇三〇〇		、、、、
二〇〇〇〇	〇二〇〇		、、、、
計	一〇〇〇		

（參考）幾人アルモ此例ニ依リ列記スヘシ又俸給額ニ異動アリタルトキハ本表備考欄ニ其ノ事由ヲ記入スルヲ要ス

右送納候也

年　月　日

何郡書記
何學校書記　氏　名　印
何郡何町村収入役

主任収入官吏
和歌山縣書記官氏名宛

○和歌山縣訓令甲第五十四號

廳中一般（監獄署ヲ除ク）
郡役所
警察署
警察分署
市役所

明治三十四年二月和歌山縣訓令甲第十一號内務省所管物品取扱細則第十六條左ノ通改正ス

明治三十四年八月廿九日

和歌山縣知事　椿蓁一郎

第十六條　市ノ徴兵署ニ要スル物品中器具ハ物品會計官吏ニ於テ便宜處理ヲ爲シ消耗ニ屬スルモノハ物品會計官吏ヨリ市ノ徴兵官ヘ交付シ其ノ受領證書ヲ徴スヘシ

○告示

○和歌山縣告示第百七十一號
大坂府ニ於テ獸疫豫防ニ關シ左ノ府令發布ノ旨通知アリタリ
明治三十四年八月廿二日　　和歌山縣知事　椿　蓁一郎

大坂府令第百七號
兵庫縣下ニ於テ流行性鵞口瘡發生ニ付明治廿九年法律第六十號獸疫豫防法第十二條ニ依リ同縣下神戶市、武庫郡及川邊郡ヲ發シ若ハ通過シタル牛、羊、山羊、豕及其乳、肉、生皮骨其ノ他獸疫病毒侵入ノ虞レアル物件ヲ大坂府下ニ搬入スルコトヲ停止ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス
明治三十四年八月十日　　大坂府知事　菊池侃二

○和歌山縣告示第百七十二號
兵庫縣ニ於テ獸疫豫防ノ爲メ左記ノ縣令並ニ告示發布ノ旨仝縣ヨリ通知アリタリ
明治三十四年八月廿二日　　和歌山縣知事　椿　蓁一郎

兵庫縣令第六十三號
本年（八月）縣令第六十一號流行性鵞口瘡豫防區域ヲ左之通リ追加ス
本令ハ發布之日ヨリ施行ス
明治三十四年八月十四日　　兵庫縣知事　服部一三
神戶市荒田町三丁目ノ内

東勞働株式會社西側細道以西
西湊川東堤防以東
南石井橋筋以北
北裁判所南側細道以南

兵庫縣告示第二百六十七號

縣令ニ於テ本月十三日流行性鵞口瘡ニ罹リタルモノ左記ノ通リ届出タリ

明治三十四年八月十四日　兵庫縣知事　服部一三

神戸市葺合町　牛六頭　豚十八頭　斃死牛四頭　仝荒田町三丁目　牛一頭

兵庫縣令第六十五號

本年(八月)縣令第六十一號流行性鵞口瘡豫防區域ヲ左之通追加ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十四年八月十五日　兵庫縣知事　服部一三

武庫郡御影町ノ内石屋村
東字境目道以西　西字左美屋道以東
南字御量道以北　北字廐後道以南
加東郡市場村ノ内太郎太夫村
字河原所ヲ起点トシ西南一丁半以内東北一丁以内

兵庫縣告示第三百七十七號

縣下ニ於テ本月十四日流行性鵞口瘡ニ罹リタルモノ左記之通屆出タリ

明治三十四年八月十五日　兵庫縣知事　服部一三

神戸市葺合町　牛三頭　豚一頭　斃死牛一頭

武庫郡西灘村　牛四頭

全郡御影町　牛一頭

○和歌山縣告示第百七十三號

警視廳ニ於テ獸疫豫防ノ爲メ左記ノ廳令發布ノ旨通知アリタリ

明治三十四年八月廿三日　和歌山縣知事　椿蓁一郎

警視廳令第五十五號

流行性鵞口瘡豫防ノ爲明治二十九年三月法律第六十號獸疫豫防法第十二條ニ依リ左ノ地方ヲ發シ若ハ通過シタル牛、羊、豕ノ輸入ヲ停止ス但シ滊車又ハ汽船積込ノ儘同地方ヲ通過シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十四年八月十五日　警視總監　大浦兼武

兵庫縣

○和歌山縣告示第百七十四號

兵庫縣ニ於テ獸疫豫防ノ爲メ左記ノ縣令並ニ告示發布ノ旨通知アリタリ

明治三十四年八月廿三日　和歌山縣知事　椿蓁一郎

兵庫縣令第六六號

本年(八月)縣令第六十一號流行性鵞口瘡豫防區域ヲ左ノ通追加ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十四年八月十八日

兵庫縣知事　服部一三

一神戸市葺合町ノ内

字新川六百拾七番及其東隣地並ニ六百拾八番區域内

仝字六百九拾番ノ一、六百九十五番、七百三拾六番、七百三拾五番區域内

兵庫縣告示第六二號

縣下ニ於テ本月十七日流行性鵞口瘡ニ罹リタルモノ並ニ斃死シタルモノ左記ノ通届出タリ

明治三十四年八月十八日

兵庫縣知事　服部一三

神戸市葺合町　牛三頭　豕十五頭

仝荒田町　牛三頭

○和歌山縣告示第百七十五號

土木請負人心得別冊之通相定ム

但土木請負規則中本心得ニ抵觸スル條項ハ之ヲ廢止ス

明治三十四年八月廿四日

和歌山縣知事　椿蓁一郎

(別冊)

工事請負人心得

第一條　土木工事及建築工事ノ請負ヲ爲サントスルモノハ土木請負規則及本則各條ノ規程ニ據ルヘシ

第二條　競爭入札ノ公告ニハ左ノ事項ヲ掲載ス

一競爭入札ニ付スル工事ノ個所及種類

二契約締結擔任官ノ氏名

三設計及注文書ヲ示スヘキ場所

四競爭入札執行ノ場所期日及時刻開札ノ時刻

第三條　競爭入札ニ加ハラントスル者ハ前條ノ公告ニ依リ實地ニ就キ入札ニ付スル工事物件ノ種類箇所設計書圖面工事着工及竣工期日工事用材料ノ準備期日其他必要ナル事項ヲ熟知シ入札管理者ノ許諾ヲ得テ既定ノ保證金ヲ納入シ入札時限内ニ入札書ヲ差出スヘシ

競爭入札ニ加ハラントスル者ハ受負規則第三條ノ各項ニ對スル市町村長ノ證明書ヲ入札執行ノ前日午前十時迄ニ入札所管理者ニ差出スヘシ

代理人ヲ以テ入札セントスルモノハ委任狀ヲ添付スルヲ要ス

入札書ヲ差出タル後ハ何等ノ事由アルモ書面ノ更正取消又ハ下戻ヲ許サス

第四條　左ノ各號ノ一ニ該ルモノハ入札ヲ許サス若シ入札後其事實ヲ發見スルトキハ其人札ヲ無効トス

一受負規則第四條ノ證明書ヲ差出サヽルモノ

二入札管理者ニ於テ請負人タルニ適セスト認ムルモノ

三入札所ニ於テ人ヲ殺傷スルニ足ルヘキ物品ヲ携フルモノ
四入札所ニ於テ人ヲ脅迫スルノ所爲アルモノ
五入札所ニ於テ動作靜肅ナラサルモノ
六前各號ノ外入札所管理者ニ於テ不都合ノ所爲アリト認ムルモノ
　但第三號以下ノ場合ニ於テハ入場ヲ禁シ又ハ直チニ場外ニ退去セシムルモノトス

第五條　入札書ノ書式ハ第一號書式ニ據ル

第六條　開札ヲ宣告シタルトキハ開札前ト雖モ入札書ハ受理セス
　但時限ハ入札所備付ノ時計ニ據ルモノトス

第七條　左ニ掲クル入札ハ無効トス
一入札ノ字体不明ニシテ讀ムヘカラサルモノ
二入札人ノ氏名ヲ記載セス又ハ記載スルモ捺印ナキモノ
　但過テ捺印ヲ爲サヽリシ者ニシテ開札時限前特ニ其旨ヲ管理者ニ申出タル者ハ此限ニ非ス
三既定ノ保証金ヲ納入セサルモノ
四開札ノ際其場ニアラザルモノ

第八條　入札人共謀結托シ其他不正ノ行爲ヲ以テ入札ヲ爲シタリト認メタル場合ニ於テハ其入札全部ヲ取消スコトアルヘシ

第九條　開札ハ入札者ノ面前ニ於テ之ヲ爲シ最低ノ價ノモノヲ以テ落札人トス若シ同價格

ノ者數名アルトキハ其者ニ限リ直チニ再入札ヲ爲サシメ猶仝價ノモノアルトキハ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ムルモノトス

但入札低價ノモノト雖モ價格不相當ナリト認ムルモノハ其入札ヲ棄却スルコトアルヘシ

第十條　左ノ各號ノ一ニ該ルトキハ入札保証金ハ還付セス縣ノ所得トス

一　落札トナルモ契約ヲ締結セサルモノ

二　一旦提出セル入札ノ取消ヲ請求セシトキ

三　落札トナルモ既定ノ保証金ヲ納入セサルモノ

第十一條　落札人ハ落札申渡ノ後直チニ契約ノ締結ヲ爲スヘキモノトス

第十二條　契約書案ハ第　號書式ニ依リ締結スルモノトス

第十三條　請負人工事中ハ常ニ工場ヘ詰切ルヘシ若シ止ムヲ得サル事故アルトキハ監督吏員ノ承諾ヲ得テ本廳ノ許可ヲ受クヘシ

第十四條　請負人ハ何等ノ名義ヲ以テスルモ其工事ノ復請負ヲ爲サシムルコトヲ得ス若シ其事實アリト認メタル場合ハ請負ヲ解除スヘシ

第十五條　請負人ハ其使役スル雇人職工人夫等ノ行爲ニ就キ其責ニ任スルモノトス

雇人職工人夫等ニシテ不都合ノ所爲アリト認ムルトキ又ハ其職ニ堪ヘスト認ムルトキハ其使役ヲ差止メ適當ノモノヲ以テ之ニ代フルコトヲ命スルコトアルヘシ

第十六條　請負人工事監督員ノ命令ニ違背シタルトキハ工事ノ中止ヲ命スルコトアルヘシ

此場合ニ於テ施工日數ヲ減縮スルモ延期ヲ與フル限リニアラス且之ニ依リ生スル損失ハ總テ請負人ノ負擔トス

第十七條　工事用材料ハ現場ニ於テ監督員ノ撿査ヲ受クルニアラサレハ使用スルコトヲ得ス撿査ニ合格セサル物件ハ現場ニ存置スヘカラス設計書中在來ノ物件ヲ使用スルモノニ對シ受負人ニ於テ其數量ノ見積ヲ爲シタルモノハ請負契約ヲ爲スト同時ニ其物件ノ引渡ヲ了シタルモノトス

第十八條　縣ノ都合ニ依リ工事ノ中止ヲ命シタルトキハ受負人ニ於テ之ヲ拒ムコトヲ得ス

但此場合ニハ受負日數内ヨリ其中止日數ヲ省除スヘシ

第十九條　天災其他避クヘカラサル事變ニ依リ期限内ニ竣成シ難キトキハ其事實ノ確認シ得ラルヽモノニ限リ相當ノ延期ヲ與フルコトアルヘシ

但延期ノ申請ハ事變ノ止ミタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ爲スヘシ

第一號書式

記

一金何程　何々（入札ニ付シタルモノヽ種類）受負金額

此入札保證金（現金又ハ何公債證書）何程

右ハ前記ノ工事又ハ材料ノ供給請負入札仕候ニ付設計書其他必要ノ關係事項ヲ熟知シ（一現場ヲ取調　前記ノ金額ヲ以テ受負可致尤モ工事請負規則受負人心得ノ條項確ク遵守シ違背仕間敷依テ入札候也

年月日

契約担任官和歌山縣書記官(又ハ何々)氏名宛

住所　入札人何之誰印

第二號書式

契約書

今般和歌山縣ニ於テ施行スル何郡市何所何々工事(又ハ何々工事用材料)ヲ何郡市何町村何ノ某ニ於テ受負致候ニ付テハ明治三十一年十一月告示第百三十號土木工事受負規則及三十四年告示第百七十五號受負人心得ノ條項ヲ遵守シ請負契約ヲ締結スルコト左ノ如シ

第壹條

一何郡市何處何々工事(何々工事用材料)

但設計書及內譯書ハ別冊ニ據ル此受負金額何程

第貳條

前條受負契約保證金トシテ左ノ金額(又ハ國債證書)ヲ縣廳ヘ納付ス

第三條

工事ハ明治何年何月何日ヨリ着手シ向フ何十日間ニ於テ竣工ス(材料ハ明治何年何月何日ヨリ何日マデ何日間ニ於テ納入ス)

第四條

受負人ノ都合ニ依リ工事半途ニシテ解約ヲ求ムルカ又ハ契約ヲ履行セサルトキ若クハ允許ヲ得スシテ工事ヲ延滯シ及受負人心得第十四條ニヨリ縣知事ニ於テ其受負ノ解約ヲ命シタ

ルトキハ契約保証金ノ全部ヲ和歌山縣ノ所得トス
但本文ノ塲合ニ於テ契約保証金トシテ納入シアル國債証書ハ契約保証金ニ相當スル現金ト引替ヲ請フコトヲ得

第五條

前條ノ塲台ニ於テ旣ニ執行セル工事ニシテ設計書ニ違ハサルモノニ對シテハ仕切決算ヲ遂ケ其工費ヲ仕拂ヒ其施行セル工事ノ設計ニ違フモノハ受負人ニ取拂ヲ命スヘシ受負人若シ取拂ノ命ニ從ハサルカ又ハ取拂ヲ怠ルトキハ縣廳ニ於テ取拂ヒ其費用ハ総テ受負人ヨリ縣廳ニ納入スルモノトス
但仕切決算ノ金額ハ縣廳ノ認定ニ據ル此認定ニ對シテハ受負人ニ於テ異議ノ申立ヲナスコトヲ得サルモノトス

第六條

工事ノ出來形其設計ニ違フトキハ縣廳ニ於テ更ニ指定セル期日迄ニ受負人ニ於テ自費ヲ以テ仕立替ヲ爲スヘキモノトス此塲台ニ於テ若其期日迄ニ出來サルカ又ハ再度設計書ニ違フ工事ヲナストキハ縣廳ニ於テ他人ニ命シテ施行セシメ其費用ハ總テ受負人ヨリ縣廳ヘ納入スルモノトス
但本文費用ノ納入ヲ怠ルトキハ契約保証金中ヨリ納入スルモノトス

第七條

正當ノ事由ニ依リ許可ヲ得タル廷期日數ノ外竣工期限ヲ過クルトキハ其超過スル日數ニ應

シ一日ニ付受負金高百分ノ一ニ當ル金額ヲ積算シ通告後三日以内ニ受負人ヨリ縣廳ヘ納入スルモノトス

但本文ノ納金ヲ怠ルトキハ契約保証金ノ内ヨリ納入セシムルモノトス

第八條

竣工檢査ニ際シ必要アルトキハ工事出來形ノ幾部分ヲ取毀チ檢査スルコトアルヘシ此場合ニアリテ工事ノ出來形其設計書ニ違フモノハ其取毀費及復舊工費トモ受負人ニ於テ辨償スルモノトス

但本文費用ノ辨償ヲ怠ルトキハ契約保証金ノ内ヨリ納入セシムルモノトス

第九條

天災ト人爲トヲ論セス竣工檢査前ニ於ケル損害ハ一切受負人ノ負担トス

第十條

工費ノ精算金ハ竣工檢査濟ノ後下渡スモノトス總工費千圓以上ナルトキハ請求ニ依リ中勘金ヲ下渡ス中勘金ハ其出來形ノ歩通チ調査シ五分以上成功ノトキハ請負金高十分ノ三以内七歩以上成功ノトキハ仝十分ノ五以内仮リニ拂渡スコトアルヘシ

前項出來形歩通リノ調査ハ内金渡ノ標準ナルヲ以テ竣工檢査ニ關シテハ其効ナキモノトス

第十一條

起工中工事ノ變更ヲ必要トスルトキハ受負人ヨリ提出セル工事内譯書ノ單價ヲ標準トシテ增減シ若シ内譯單價ニ據リ難キ事實アルカ又ハ設計外ノ材料チ要スルトキハ相當時價ヲ付

シテ増工事ヲ命スルコトアルヘシ
但本文ノ場合ニ於テ受負人ハ命令ニ違背スルコトヲ得サルモノトス

第十二條

前條ノ場合ニ於テ現場ヘ持込タル材料ニシテ不用トナリタルモノアルトキハ相當代價ヲ下渡シ其材料ハ縣廳ニ買收スルモノトス

第十三條

工事竣工撿査濟ノ後ト雖モ知事ノ指定セル期間内ハ受負人ニ於テ瑕疵担保ノ責ニ任シ保證金ノ半額ハ縣廳ニ留置スルモノトス
但担保ノ期間ハ一ケ年以内トス

第十四條

受負人故障アルトキハ保證人ニ於テ本契約ノ義務ノ一切ヲ負擔スルモノトス

右契約ス

明治何年何月　日

何縣何郡市何町村何ヶ所番地
請負人　氏　名　印
仝上
保證人　氏　名　印
仝上
保證人　氏　名　印

和歌山縣內務部長　官　氏　名　印

○和歌山縣告示第百七十六號

流行性鵞口瘡豫防之爲メ左記ノ縣令發布ノ旨滋賀縣ヨリ通知アリタリ

明治三十四年八月廿六日　和歌山縣知事　椿　蓁一郎

滋賀縣令第五十一號

明治二十九年法律第六十號獸疫豫防法第十二條ニ依リ流行性鵞口瘡豫防ノ爲メ左ノ地方ヲ發シ若クハ同地ヲ經過シタル牛羊山羊豚及其生肉生皮生骨ノ輸入ヲ停止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治卅四年八月十七日　滋賀縣知事　河島　醇

兵庫縣　神戸市

○和歌山縣告示第百七十七號

兵庫縣下ニ於テ本月十五十六兩日間流行性鵞口瘡ニ罹リタルモノ幷ニ斃死全治シタルモノ左記ノ通リ通知アリタリ

明治三十四年八月廿六日　和歌山縣知事　椿　蓁一郎

八月十五日

加東郡市場村　牛二頭

神戸市荒田町　牛一頭

仝　夢野村　全治牛十五頭

八月十六日

神戸市葺合町　牛五頭　豕九頭　斃死牛一頭

仝　荒田町　牛一頭

武庫郡西灘村　牛六頭

加東郡市場村　牛一頭

○和歌山縣告示第百七十八號

兵庫縣下ニ於テ本月十八日流行性鵞口瘡ニ罹リタルモノ并ニ斃死シタルモノ左記ノ通リ通知アリタリ

明治三十四年八月廿六日　和歌山縣知事　椿　蓁一郎

神戸市荒田町　牛一頭

仝　葺合町　牛一頭　豚二頭　斃死豚二頭

○和歌山縣告示第百七十九號

徳島縣ニ於テ流行性鵞口瘡豫防ノ爲メ左記ノ縣令發布ノ旨通知アリタリ

明治三十四年八月廿六日　和歌山縣知事　椿　蓁一郎

徳島縣令第六十五號

兵庫縣下ニ於テ流行性鵞口瘡發生益々蔓延ノ兆アルニ付同地方ヲ發シ又ハ同地方ヲ經タル牛羊豚及其生皮生乳生皮骨ヲ本縣下ニ輸入スルヲ停止ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス
明治三十四年八月二十日
○和歌山縣告示第百八十號
兵庫縣下ニ於テ本月十九日ヨリ仝廿二日迄流行性鵞口瘡ニ罹リタルモノ幷ニ斃死シタルモノ左ノ通リ通知アリタリ
明治三十四年八月三十日
和歌山縣知事　椿　蓁一郎

八月十九日
神戸市荒田町　牛五頭
仝　葺合町　牛一頭　豚四頭　羊一頭　斃死豚四頭　羊一頭
八月二十日
神戸市荒田町　牛七頭
仝　葺合町　豚三頭　羊一頭　斃死豚二頭　羊一頭
八月二十一日
神戸市荒田町　牛六頭
仝　葺合町　牛三頭　豕十五頭　斃死豚二頭
八月二十二日
神戸市荒田町　牛三頭
仝　葺合町　豕九頭　斃死牛一頭　豚一頭

○和歌山縣告示第百八十一號
高知縣ニ於テ獸疫豫防ノ爲メ左記ノ縣令發布ノ旨通知アリタリ
明治三十四年八月三十日　和歌山縣知事　椿蓁一郎
高知縣令第七十一號
流行性鵞口瘡豫防ノ爲左ノ地方ヲ發シ若ハ通過シタル牛羊豕ノ輸入ヲ停止ス但シ汽車又ハ船舶積込ノ儘同地方ヲ通過シタルモノハ此限ニ在ラス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス
明治三十四年八月廿二日　高知縣知事　渡邊融
兵庫縣